

令和6年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

商工観光課

1 施設の概要等

施設名	府中市地域交流センター		
所在地	府中市府中町559番地2		
設置目的	中心市街地において、市民等の交流の場となる空間を提供することにより、賑わいを創出し、もって中心市街地の活性化を目的とする		
施設・設備	北館(観光センター、公衆トイレ)、南館(店舗、共用区画、客用トイレ等)		
指定管理者	R6.4.1	～	R11.3.31 一般社団法人府中市観光協会

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)		
	R4	30,000 人	31,069 人	944 人	1,069 人	103.6%	%
R5	31,500 人	43,216 人	12,147 人	11,716 人	137.2%	%	
R6	32,500 人	38,835 人	-4,381 人	6,335 人	119.5%	%	
R7	33,000 人					%	
R8	33,500 人			-		%	
増減理由							

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	毎月の事業報告書(南館)	来館者数・使用電気料料・使用水道料・売上
	来館者集計	体験事業数・来館者(男女別・市外)
	管理者点検	管理施設・備品等の点検
	【主な意見】	【その対応状況】
	交流センター入口がわかりにくい(特に南館)市外からの来館者が増加した為に近年増加したのを感じる。北館においても来館者より少数ではあるが南館同様の意見がある。	南館においては、テナントと協議のうえで入口の分かりやすい表示。北館においては入り口部分へのポスター等の掲示物を少なくする対応をした。
	施設備品の劣化・定期修繕清掃殿等について	南館、業務エアコンの年次清掃を実施、鉄板の修繕を実施した。北館公衆トイレの清掃(日曜以外毎日)、南館・北館の年末クリーニング、ワックス掛け。

4 市の業務点検等の状況

項目		実績	備考		
報告書	年度	○	事業報告書		
	月報	○	月次報告		
	日報(必要随時)	○	設備備品の破損故障等随時		
管理運営会議		【特記事項等】			
1 回 会場		設備備品の状況報告及び確認、来館者の意見等の聞き取り			
現地調査 (実施月)		【指定管理者の意見】			
1月	2月	3月	4月	5月	南館については毎月の事業報告書を受ける時に設備の不備、利用者などの状況確認を行った。北館については、職員が直接、設備の確認、利用者の意見等を伺い運営を実施した。
			○		
【市の対応】					
6月	7月	8月	9月	10月	都度、府中市の担当課へ報告、指示を受けて運営を実施した。
○				○	
11月	12月				
○					

5 市委託料の状況

(単位:千円)

市委託料 (決算額)	年度	金額	対前年度増減	料金収入 (決算額)	年度	金額	対前年度増減
	R4	643	0		R4	2,611	84
R5	643	322	R5	2,855	116		
R6	321	321	R6	2,739	2,739		
R7			R7				
R8			R8				

6 管理経費の状況

(単位:千円)

項目		R5決算額	R6決算額	対前年度比	主な増減理由等
委託事業	収入				
	市委託料	643	321	-322	
	料金収入	2,855	2,739	-116	
	その他収入	970	1,759	789	
	計(A)	4,468	4,819	351	
	支出				
	人件費	0	0	0	
	光熱水費	0	0	0	
	設備等保守点検費	0	0	0	
	清掃・警備費等	0	0	0	
施設維持修繕費	2,879	3,004	125		
事務局費	323	937	614		
その他支出	210	873	663		
計(B)	3,412	4,814	1,402		
収支①(A-B)	1,056	5	-1,051		
自主事業					
収入(C)	0	0	0		
支出(D)	0	0	0		
収支②(C-D)	0	0	0		
合計収支(①+②)	1,056	5	-1,051		

※1 利用料金制

公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。

指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業

指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目	指定管理者	市の評価
総括	<p>・南館の運営については、2テナントと連携を図り「お好み焼き体験」の受入、広報活動を積極的に行った。また、お祭り通り、お祭り広場周辺でのイベント開催時には、新規の顧客獲得やニーズの把握につとめた運営を行った。また、来店者が安心・安全かつ快適に施設を利用できるよう設備・備品の点検修繕等をテナントと連携をして実施した。</p> <p>・北館の運営については、来館者に対し、「イクちゃんサービス」の場として提供した。公衆トイレの衛生管理、点検業務を行い利用者が常時快適に使用できる状態に管理している。観光案内所・交流スペースとしての機能を充実させる運営を心掛け、わかりやすいパンフレットの掲示、心のこもった観光客への対応を心掛け観光PR、案内業務を実施した。</p>	<p>・清掃が行き届けており、継続的な美化に取り組まれない。</p> <p>・日常の施設管理について概ね適切に行われている。</p> <p>【南館】</p> <p>・施設のメンテナンスや修繕、臨時休館等の対応については、現場の状況をこまめに把握しテナントと密に連携して管理することが望まれる。</p> <p>【北館】</p> <p>・観光客が訪れやすい雰囲気づくりや来客応対を引き続き期待したい。</p> <p>・観光分野においてもDX化が進んでおり、他の事例等も調査・研究し、府中市にとって最適な観光案内が提供できるよう発展が望まれる。</p>

8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	市
課題と対応	<p>「お好み焼き体験」の受入れ人数の限界があるために、大型バスでの顧客を受け入れにくい(通常2店舗で1回14名となり大型バスの場合3回転)旅行会社への営業時に敬遠される傾向がある。「お好み焼き体験」は市内観光地とセットにした旅行商品として伸びしろがあり早急な対応が必要と感じる。現在は24名までの顧客の場合は、半分は「恋しき」見学・半分は「お好み焼き体験」で対応している。北館での体験人数も南館同様に限界があり大人数の場合は、お客様負担をお願いして「恋しき」大広間・個室を利用しての勾玉づくり体験・香り袋づくり体験を実施している。交流センターの運営と観光促進事業の実施についてバランスよい運営が課題です。</p>	<p>・施設の収容人数には限りがあるため、周辺施設を活用した体験等を組み合わせることで収容人数の課題を克服することができる。既存の体験メニューに加え新たな体験メニューの構築と受入れ先の検討が必要である。観光協会会員との連携や協力を得つつ課題解決にむけて取り組む。</p> <p>・市外からだけでなく、市民の交流の場としての利用もできるような事業展開も必要と考える。インナープロモーションにより市民のエンゲージメントを高め、様々な体験を売る場として発展させることも視野に検討する。</p>